

| | |
|-------------------------|--|
| 授業科目名 | 疫学概論 |
| 科目番号 | OATHA11 |
| 単位数 | 1.0 単位 |
| 標準履修年次 | 1 年次 |
| 時間割 | 春AB 火3 |
| 担当教員 | 我妻 ゆき子 |
| 授業概要 | 健康ないし疾病の要因について人間集団を対象にして宿主 (host)、病因 (agent)、環境 (Environment) の各面から包括的に究明し、法則性を見いだす疫学の原理について学ぶ。 目標:初歩的な研究デザインについて概観し、人間集団を対象とした研究を行う際の研究実施計画の重要性を理解する。疫学の基本を理解し、その基本的手法と用法について説明することができる。 |
| 備考 | 英語で授業。 対面 |
| 授業方法 | 講義 |
| 学位プログラム・コンピテンスとの関係 | 汎用コンピテンス：知の活用力 専門コンピテンス：公衆衛生学コア1：疫学応用能力 |
| 授業の到達目標（学修成果） | 疫学の基本を理解し、その基本的手法と用法について説明することができる。 |
| 授業計画 | 第1回 疾病とその予防に関する疫学的アプローチ 第2回 疾病頻度の測定:罹患と死亡 第3回 診断検査の妥当性と信頼性の評価 第4回 ランダム化比較試験 第5回 コホート研究 第6回 ケースコントロール研究 第7回 因果関係の推論:バイアス、交絡、相互作用 第8回 疾患における遺伝要因と環境要因の役割 第9回 疫学と公共政策 第10回 疫学における倫理的課題 |
| 履修条件 | なし |
| 成績評価方法 | 期末試験 (80%)と小テストの得点 (20%) にて評価する。 |
| 学修時間の割り当て及び授業外における学修方法 | 講義 (100%) 授業範囲を教科書にて予習し、授業後には復習すること。また、小テストを実施するので回答を提出すること。 |
| 教材・参考文献・配付資料等 | 1. David D Celentano and Moyses Szklo, Gordis Epidemiology, 6th edition, Elsevier, 2018 2. Miquel Porta (ed), A dictionary of epidemiology, 6th Edition, Oxford University Press, 2014. |
| オフィスアワー等（連絡先含む） | 随時(メールで予定を確認のうえ、訪問すること) 我妻ゆき子 ywagats@md.tsukuba.ac.jp 随時、メールにて事前連絡 医学系棟 433室 ywagats at md.tsukuba.ac.jp |
| その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等） | |
| 他の授業科目との関連 | |

| | |
|---|------------------|
| ティーチングフェロー (TF) ・ティーチング アシスタント (TA) | |
| キーワード | 疫学, 疫学研究, 研究デザイン |